

産学官+「金融機関」連携活動組織

コラボ産学官

◆理事長挨拶

コラボ産学官は創立3周年を迎えました。これを機に、さらなる発展に向けた戦略的な活動を展開していくことを決意を新たにしたところです。

昨今「格差」が話題になることが多くなりました。大企業と中小企業、中央と地方、正規社員と非正規社員、旧制大学と地方大学、等々格差といつまでもあります。これらの格差は以前からも懸念とありましたから、昔ないことでもないはずですが、後來に比べて格差が大きくなっていること、下の層が拡大したことが、注目を浴びている原因と思われます。しかし、つぶさに見れば、元氣で生き生きとしている中小企業や、地方もたくさんあります。その元気は、どこにあるのでしょうか?それは、お金の力ではないということは明らかです。知恵の力であり、知恵を作った人の力です。しかし、特別な才覚がないわけではありません、志があって、人の真似を心忌とせず、個性を重んじ、変化を楽しむ人々がいれば、可能なことなのです。

コラボ産学官は、他の創造と知的人材の育成を使命とする大学を、社会の活性化に活かすための場を提供しています。大学は、個性豊かで、人まねを嫌う博識の士の集まりです。これを活かす社会は、確実化するしかありません。地方には、地方の特色、文化を理解し、地方に貢献しようとする大学があります。逆に言えば、大学は、地方の個性を活かし、地方の活力を生み出すために、その知的拠点、文化拠点となっています。その地方における存在意義が確立されるのです。各地方が異なる豊かな特色を持って生きていくには、地方が孤立していっては立ていかなくなります。そこに、コラボ的連携のネットワークが重要なキーになると考えています。

これからも皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

◆活動体制

ソフト コラボ産学官

首都圏、各行政単位の全面的支持
ex.江戸川区等、(独)東京都立産業技術研究センター等との連携

全国地方支部構成員として支部事務局を担う信用金庫
業界の中企業顧客との連携

キャンパスクリエイト等有力TLGとの連携による連携による連携による連携による連携

地方支部を構成する全国コラボ会員とのネットワーク、全国コーディネータネットワーク会員との連携

ハード コラボ産学官プラザin TOKYO

- ▶収容400~700人のホール
- ▶24室のサテライトオフィス
- ▶全国60大学・研究教育機関
- ▶安心のセキュリティ
- ▶大・小の会議室
- ▶交通至便

連絡

コラボ産学官事務局

TEL:03-0091

東京都江戸川区船堀3-5-24 5F
コラボ産学官 プラザ in TOKYO
電話:03-5696-0425 / FAX:03-3877-1207
E-mail: jimu@collabosgk.com
URL: <http://www.collabosgk.com>

産学官+「金」活動連携組織

コラボ産学官

(2007.11.1現在)

●中国大学科技园協会 TLG 東京国際合作部
清華大科技园、北京大科技园等
44国家级大学科技园

- 特別正会員 入居大学・機関
- 法人正会員 参加大学・機関
- 支援機関
- 地方支部

地方支部協力大学

・東京立正大学
・東京公認大学
・東京文理大学
・東京工業大学
・八戸大学
・八戸工業大学
・北里大学創薬系
・八戸市立高等専門学校
・独立行政法人 地域情報力開拓支援機構
・農業生産能力開拓大学校附属 青森県農業力開拓専門学校
・農業生産能力開拓大学校附属 岩手県農業力開拓専門学校
・青森県立大学
・東洋工業大学
・東洋工業大学
・茨城県立大学
・東京農業大学
・東京理科大学
・東洋大学
・日本工農大学
・日本工農大学
・立正大学
・鹿児島県立大学
・鹿児島県立大学
・九州産業大学
・八代市立高等専門学校
・千葉工業大学
・千葉工業大学
・日本工業大学
・日本経済大学
・東京情報大学
・淑徳大学
・木更津工業高等専門学校

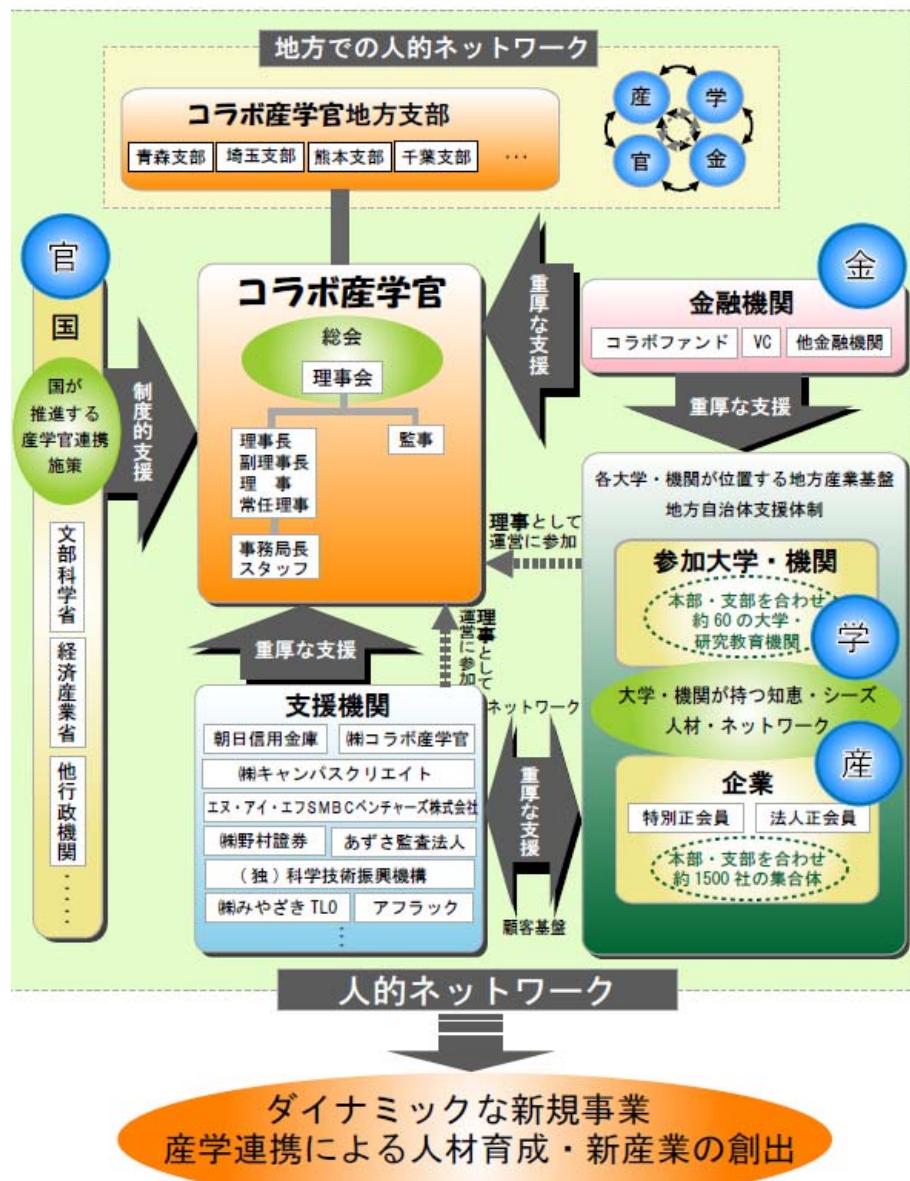
・長崎大学
・熊本大学
・奈良女子大学
・奈良女子大学
・熊本支部
・熊本農業専用金庫
・熊本中央専用金庫
・天草専用金庫
・熊本第一専用金庫
・伊みやざきTLG

○支援機関

- (独) 科学技術振興機構 (JST) SciencePortal 《サイエンスポート》
- (独) 研究共通システム研究所
- (独) アジア・太平洋「食・農・環境」情報拠点
- (株) デジタルニューディール研究所
- (株) 日信電通金庫
- (株) あづさ監査法人
- (株) アフラック
- (株) エヌ・アイ・エフ SMB Cベンチャーズ (株)
- (株) キャンパスクリエイト
- (株) コラボ産学官
- (株) ジャフコ
- (株) 野村證券 (株)

E-mail: jimu@collabosgk.com
URL: <http://www.collabosgk.com>

コラボ産学官が目指す新ネットワーク / 産学官+「金」連携推進事業



コラボ産学官の産学官連携相談システム

①企業からの技術相談の申込

技術相談シートに相談内容と必要事項を記入し、コラボ産学官へ
FAX:03-3877-1207 E-mail: jimu@collabosgk.com

担当機関とコーディネーターの決定

②コーディネーターとの打合せ

支援機関が担当する案件は支援機関のコーディネーターが会員訪問し、問題の背景を把握します。各大学・TLGが担当する場合は、その機関ごとの手順に沿って行われます。

適任な研究者を選定

③大学研究者との打合せ

企業担当者・支援機関のコーディネーター、研究者の3者で技術問題解決について打ち合わせます。

契約手続き・共同研究の進展を支援

④共同研究の契約・実施

契約手続き、研究者との打合せのセッティング、進捗状況を詳細に把握しての支援(有料)を行い、技術移転、新製品開発などに結び付けます。

◆技術相談…あなたの会社の技術的な問題を解決へと導くために

技術移転というと特許が関わる革新的な技術ばかりを連想しがちですが、生産技術の向上、品質性能のアップなどに関わる技術やノウハウも技術移転であり産学連携のひとつです。自社の中で解決したい問題は、全てが相談案件になります。技術移転は企業からの技術相談から始まることが多く、「ニーズ志向型」の産学官連携スタイルといえます。

◆金融機関との連携の内容

コラボ産学官には、支部を含めて全国各地の信用金庫ネットワーク、ベンチャーキャピタルであるエヌ・アイ・エフSMBCベンチャーズ㈱や㈱ジャコが参画しています。産学官連携による研究成果の事業化・製品化、起業に際しては、資金面での課題に直面することがあります。コラボ産学官の支援機関である各金融機関による融資や、VCファンドという形で支援を受けることが出来ます。また、マッチングから事業化までのワンストップサービスも可能です。会員企業のニーズに対する目利きを、コーディネーターのみならず、金融機関や監査法人の目を通して行なわれるなど、多方面からの分析、支援を行ないます。